

2026 年度秋季入学第 2 回試験学生募集要項（博士後期課程）

試験区分コード	3264
---------	------

1 入学定員

専攻	定員
コンピュータ・情報システム学専攻	10名

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び 2026 年 9 月 30 日までに取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2026 年 9 月 30 日までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2026 年 9 月 30 日までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2026 年 9 月 30 日までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び 2026 年 9 月 30 日までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校、第 4 号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第 16 条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 学校教育法施行規則第 156 条第 6 号の規定により文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第 118 号）

下記のアからウのいずれかを満たした後、大学、研究所等において 2 年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

ア 学校教育法第 83 条に規定する大学を卒業した者

イ 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者

ウ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者

- (8) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2026 年 9 月 30 日において 24 歳に達する者

注1) 官公庁及び企業等に在職のまま、出願・入学することができる。

注2) 全ての出願者は、出願の前に、入学後の研究計画等について、指導を受けようとする教員に了承を得ること。外国人留学生は、了承を得た後、本学所定の様式 (Request for Research Advisor Acceptance) に所要事項を記入し、当該教員に提出すること。

注3) (7)又は(8)により出願を希望する場合及びコンピュータ理工学以外の分野からの出願者（以下「他分野出身者」という。）については、出願資格を事前に審査する必要があるため、「10 出願資格の

事前審査を要する場合」をよく読んで提出期限までに事前審査書類を提出すること。

3 出願手続

(1) 出願方法

出願方法は、郵送又は直接持参とする。

出願書類は封筒に入れ、表に出願者の氏名及び住所（本学在學生はさらに学籍番号）を記入すること。
郵送の場合は、下記の出願書類送付先まで追跡可能な手段で送ること。

海外からの場合は、事前に電子ファイル化した出願書類を E-mail により送付し、確認を受けた後、すべての原本を提出期限までに到着するように追跡可能な手段で送ること。

(2) 出願書類送付先（問い合わせ先）

〒965-8580 会津大学 学生課学生募集係
TEL : (0242) 37 - 2723 FAX : (0242) 37 - 2526
E-mail : admission@u-aizu.ac.jp

(3) 出願期間

出願期間は以下のとおり。

なお、同じ日程で実施される 2027 年度春季入学第 1 回試験(3271)に同時に出願することはできない。

試験区分コード	試験区分	出願期間
3264	2026 年度秋季入学第 2 回試験	2026 年 6 月 1 日(月)から 6 月 8 日(月) 午後 5 時まで


(4) 出願書類

出願書類は、特に記載のない限り**すべて原本を提出**すること。やむを得ず原本を提出できない場合は、原本証明を受けたコピーを提出すること。

様式には日本語または英語で明瞭に記入すること。ただし、指定があるものは英語で記入すること。

証明書等が日本語又は英語以外の言語である場合は、証明書等の厳封を解いたうえで、大使館、公証役場、出身大学又は政府公認機関等で公証印を受けた翻訳（本人作成可）を添付すること。

出願書類	摘要
1 入学願書	本学所定の様式(D1)に所要事項を記入すること。
2 住所票 写真票 受験票	本学所定の様式(D2)に所要事項を記入すること。 裏面に氏名を書いた写真（縦 4 cm×横 3 cm、正面上半身無帽、背景なし、出願前 3 か月以内に単身で撮影したもの。）を写真票、受験票の所定の箇所に貼ること。
3 修士課程 修了(見込) 証明書	出身大学院の長等が作成したもの。（英文。本学大学院正規課程在學生は不要） 外国の大学院の場合は、 学位取得証明書 もあわせて提出すること。 出願資格(7)及び(8)の者で、提出できない場合は、出身大学が作成した卒業証明書をもちて代えることができる。
4 成績証明書 (学部)	出身大学の長等が作成したもの。（英文。本学大学院正規課程在學生は不要）
5 成績証明書 (大学院)	出身大学院の長等が作成したもの。（英文。本学大学院正規課程在學生は不要） 出願資格(7)及び(8)の者で、提出できない場合は、「4 成績証明書(学部)」を提出することによって省略することができる。

6	研究概要	<p>これまでの研究概要を A4 版用紙 3 ページ程度に英語で作成のこと。 研究に関する発表論文があれば写しを添付のこと。博士前期課程又は修士課程修了見込み者の場合は、現在の研究内容の概要で可。</p>
7	研究計画書	<p>本学所定の様式(D3、4 ページまで)を使用し、計画している入学後の研究内容等について英語で記入のこと。 注：遠隔地に居住している等の事情により、指導を受けようとする教員の署名や押印を得られない場合は、教員が了承していることを示す E-mail の写しを添付すること。</p>
8	推薦書	<p>本学所定の様式(D4)を使用し、出願者の研究能力、業績等を客観的に証明することのできる者(出身大学院の指導教員や所属長等)が英語で作成し、封印をしたもの。</p>
9	英語試験の成績証明書	<p>TOEIC L&R (公開テスト又は本学が実施した IP に限る)、TOEFL、IELTS、Duolingo English Test のいずれかの成績証明書(出願前 2 年以内に受験したもの)。 なお、英語を母語とする者及び本学大学院正規課程在学学生は提出不要。英語による教育(学士以上の学位課程に限る)を受けた者は、教育での使用言語について学位を授与した大学院等が証明する文書をもって英語試験の成績証明書に代えることができる。</p>
10	入学検定料	<p>30,000円</p> <p>本学大学院博士前期課程を修了し、引き続き博士後期課程に進学する者については、入学検定料は不要。</p> <p>■日本国内で送金 出願者本人を振込人名義として、日本円で以下の口座に入金し、送金を証明する書類を添付すること。手数料はすべて送金者負担とし、下記口座への入金額がちょうど 30,000 円となるように送金すること。</p> <p>銀行名：東邦銀行 会津営業部 (支店番号：401) 口座番号：(普) 2268703 口座名義：コウリツダイガクハウジン アイヅダイガク 公立大学法人 会津大学</p> <p>■海外から送金 Flywire により送金し、支払完了通知メールの写しを添付すること。 https://landing-pages.flywire.com/landing/u-aizu-app-land</p> <p>Flywire を利用できない場合、出願者本人を振込人名義として、日本円で以下の口座に入金し、送金を証明する書類を添付すること。手数料はすべて送金者負担とし、下記口座への入金額がちょうど 30,000 円となるように送金すること。</p> <p>銀行名：みずほ銀行 SWIFT：MHCBJPJT 支店：会津支店 (支店番号：725) 支店住所：福島県会津若松市中央 1-1-25 口座番号：(普) 1178709 口座名義：コウリツダイガクハウジン アイヅダイガク 公立大学法人 会津大学</p> 

11	パスポート (在留カード) の写し ※ <u>外国籍の者</u>	パスポートの写し(氏名、生年月日、国籍等が記載されているページ)を提出すること。未取得の場合は、これらの情報を確認できる身分証明書等の写しを提出すること。 日本の在留カードを所持している者はその表裏両面の写しも提出すること。 (本学在学学生はいずれも不要)
12	出願承認書 ※ <u>該当者</u>	1. 官公庁、企業等に在籍のまま出願・入学を希望する者は、当該所属長が作成した出願承認書を提出すること。様式任意。 2. 出願時に他大学院(博士後期課程)に在学中の者は、当該大学院の受験許可書を提出すること。様式任意。
13	そ の 他 ※ <u>該当者</u>	1. 海外居住者で、面接のために来日することが困難な場合は、下記の期間中にオンラインで口頭試問を行うことができる。オンラインでの試験を希望する場合は、その理由を記載した書類を提出すること。 日 程：2026年7月7日(火)～2026年7月9日(木) 2. GREを受験している場合は、そのスコア又は取得級の公式証明書(写し可)。

4 注意事項

- (1) 不備のある出願書類、出願締切日時を過ぎて到着した出願書類は受け取らない。また、その他の理由によって出願が受理されない場合がある。
- (2) 出願書類受理後は、いかなる理由があっても当該書類及び入学検定料は返還しない。
- (3) 出願後の出願書類の記載の変更は認めない。
- (4) 出願書類に虚偽の記載があった場合には、入学許可後であっても入学を取り消すことがある。
- (5) **出願資格の(1)から(5)において、その「見込み」で出願したものは、入学時に修了証明書等関係書類を提出すること。その要件を充足しないこととなった場合は、入学許可を取り消す。**
- (6) 上記(4)、(5)により入学許可を取り消した場合にも、関係書類及び入学検定料、入学金等の納付金は返還しない。
- (7) 入学検定料について、新たな減免措置を講ずる場合があるので、最新の情報を本学 Web ページで確認すること。 URL: <https://u-aizu.ac.jp/admissions/>

5 試験

(1) 選抜方法

入学者の選抜は、面接試験、出願書類等を総合して行う。海外居住者で、面接試験のために来日することが困難な場合は、オンラインで口頭試問を行うことができる。

面接試験の内容は、英語能力、コンピュータ理工学に関する専門知識、これまでの研究概要(修士論文等)及びこれからの研究計画とする。面接の時間は、1人30分程度とする。研究概要等の発表方法については、指導教員の指示を受けること。面接時に資料を用意して、面接員に配付することも可能。また、発表用にプロジェクターを使用することも可能。

注) 出願資格の(7)又は(8)に該当する者及び他分野出身者の面接は、1人45分程度とする。

(2) 試験実施日時・場所等

出願者には、受験票送付の際に個別の案内を通知する。

試験区分コード	試験区分	試験日時	場所
3264	2026 年度秋季入学第 2 回試験	2026 年 7 月 11 日(土)	本学内

6 合格発表

(1) 合格者発表方法

本学 Web ページに合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者本人あてに文書で通知する。電話、E-mail、その他による合否の問い合わせには一切応じない。

URL: <https://u-aizu.ac.jp/admissions/graduate/result/>

(2) 合格者発表期日

試験区分コード	試験区分	発表日時
3264	2026 年度秋季入学第 2 回試験	2026 年 7 月 17 日(金) 午前 11 時頃

7 入学手続

(1) 入学手続方法

- ア 入学手続に必要な書類等については、合格発表後に送付する。本学在学学生は学生課で配付する。
- イ 提出書類は直接持参（代理人も可）、または入学手続期日まで必着の追跡可能な手段で送ること。送付先及び連絡先は、「3 出願手続」の(2)出願書類送付先を参照のこと。
- ウ 必要な書類がすべてそろっていない場合には受付できないので、提出の前に十分確認すること。
- エ 一度受付をした入学手続書類は、いかなる理由があっても返還しない。
- オ 一度納付された入学料は、原則として返還しない。
- カ 日本政府（文部科学省）奨学金留学生として採用された者又は支給期間の延長が決定した者が本学に入学する場合は、入学料を納付せずに手続を完了することができる。
- キ 日本政府（文部科学省）奨学金留学生に申請中の者は、入学手続期間の延長を願い出ることができる。
- ク 所定の期日までに入学手続を完了しない者は、入学を辞退したものとして取り扱う。

(2) 入学手続日

試験区分コード	試験区分	手続の期日
3264	2026 年度秋季入学第 2 回試験	2026 年 7 月 29 日(水)

(3) 初年度納付金

区 分	金 額	納入時期
入 学 料	282,000 円	7(2)の入学手続時 ※本学博士前期課程を修了し、引き続き博士後期課程に進学する者については、 入学料は不要。

授 業 料	520,800 円	11 月末日及び 5 月末日を納期限として分納（各 260,400 円）する。
学生教育研究災害障害保険料	(3 年分) 2,600 円	7(2)の入学手続時

8 その他

(1) 日本への入国、在留資格等手続（外国人留学生）

本学大学院に入学するために必要な入国及び在留資格等手続については、入学時まで完了することが必要である。入国等の手続が完了せず、実際に入学ができなかった場合の責任は、すべて出願者本人に帰するものとし、提出書類及び納付金等の返還は行わない。

在留資格認定証明書交付申請の手続については、合格発表後、入学手続に必要な書類等とあわせて通知する。なお、必要書類等は本学ホームページに掲載しているので、予め確認すること。

URL: <https://u-aizu.ac.jp/campus/residencecard/preadmission.html>

在留資格認定証明書の申請に入学許可書が必要であるが、本学の入学許可書は、入学金が納付され入学手続が完了した後に発行するので注意すること。留学ビザの取得については、あらかじめ大使館等に確認すること。

(2) 奨学金制度

独立行政法人日本学生支援機構の大学院奨学金等があり、詳細については入学後、説明会を行う。

(3) R A 制度

博士後期課程学生が、教員の行う研究に対する補助及び大学外の機関等との連絡業務の補助を行う R A（リサーチ・アシスタント）制度がある。詳細は、教員に問い合わせること。

(4) 生活費

現在、必要な生活費は 1 か月当たり約 10 万円である（授業料除く）。

(5) 下宿・アパート

学生は自分で下宿・アパートを探す必要がある。なお、下宿・アパートについての情報は、本学ホームページに掲載する。 URL: <https://u-aizu.ac.jp/campus/apartment/>

9 個人情報の取り扱いについて

個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「公立大学法人会津大学が取り扱う個人情報の保護等に関する規則」に基づいて取り扱う。

- (1) 出願にあたって知り得た氏名、住所その他の個人情報は、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格者発表、③入学手続事務を行うために利用する。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績は、入学後の教育指導及び今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用することがある。
- (3) 出願にあたって知り得た個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績は、入学者のみ①教務関係（修学指導等）、②学生支援関係
- (4) （学籍、健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請、入寮者選定等）、③授業料徴収関係の業務を行うために利用することがある。

10 出願資格の事前審査を要する場合

出願資格の(7)、(8)による出願を希望する者及び他分野出身者については、出願に先立ち事前審査を行

う。なお、実際の出願の際には、入学願書原本とともに、事前審査提出書類以外の出願書類を提出すること。

事前審査書類を提出する場合は、任意の封筒に入れ、表に「事前審査書類」及び出願者の氏名、住所を記入し、「3 出願手続」の(2)出願書類送付先へ直接持参するか、追跡可能な手段で送ること。

海外からの場合は、事前に電子ファイル化した書類を E-mail により送付し、確認を受けた後、提出期限までに到着するように追跡可能な手段で送ること。

(1) 提出期限及び結果通知日

試験区分 コード	試験区分	事前審査書類の提出期限	審査結果の通知
3264	2026 年度秋季入学第 2 回試験	2026 年 5 月 1 日(金) (午後 5 時必着)	2026 年 5 月 29 日(金) まで

(2) 提出書類等

提出書類等	摘 要
入 学 願 書 の 写 し	「3 出願手続」の(4)出願書類を参照のこと。
修士課程修了(見込)証明書	
成績証明書(学部)	
成績証明書(大学院)	
研 究 概 要	
研 究 計 画 書	
推 薦 書	

■大学院アドミッション・ポリシー

会津大学は日本で最初のコンピュータ理工学専門の大学です。コンピュータ理工学は、応用性が広く、将来性が高く、知的生産技術の中核となる最先端の学問です。

会津大学は、「地域から世界へ」と「to Advance Knowledge for Humanity」（人類の平和と繁栄のために発明・発見を行うこと）を建学の理念とし、開学以来全国でも類を見ないほど、研究業績の優れた多数の外国人教員をそろえ、国際社会をリードする研究開発・教育を行ってきました。

会津大学大学院は、国際的に貢献できる先駆的な学術教育研究の場として、1997年（平成9年）4月に設置されました。本学大学院は国内の産業界からの提言も取り入れた多様な授業を行う優れた教育研究環境を提供することにより、創造性のある人材育成を目指しています。グローバル環境における問題解決能力を養うため、授業は基本的に英語で行われています。

会津大学大学院研究科が求める学生像及び入学者選抜の基本方針は以下のとおりです。

大学院の求める学生像

【博士前期課程】

博士前期課程では国内外問わず、以下の資質を有する学生を求めます。

- 本学、他大学、高等専門学校専攻科等出身で、コンピュータ理工学とは異なる専門分野を修得した人も含め、コンピュータ理工学の基礎知識と技術を持つ人。
- コンピュータ理工学の先端知識と技術を習得し、あるいはさらにプロジェクト開発・マネジメントを学び、研究者やエンジニア、チームリーダーとして企業で活躍したい人。

【博士後期課程】

博士後期課程では国内外問わず、以下の資質を有する学生を求めます。

- 先端的コンピュータ理工学の研究を行うために十分な能力と意欲がある人。特に、学界において科学者・教育者として、または産業界において、研究者、あるいは新しいプロジェクトの立案・推進役として活躍できると期待される人。
- 旺盛な好奇心、新しいことに挑戦する精神を兼ね備え、人類のための新しい知識と社会に役立つ新しいシステムの研究と開発への強い意欲がある人。

入学者選抜の基本方針

会津大学大学院では、先端的コンピュータ理工学を学ぶために必須となるコンピュータ関連基礎知識や技術、英語能力、意欲などを確認するため、研究計画を含む出願書類の審査を行うとともに、英語による口頭試験を課すこととしています。なお、試験区分によっては、出願書類の審査のみを行う場合があります。